

陽だまりの水仙ロードを歩く

嵯峨山

実施日 2010年1月31日(日)
 天候 晴
 リーダー 涌井 良明
 参加者 上野キヨ、友近洋子、佐藤金治、山口駿三、岩井康子、涌井良明、島本陳重、鈴木恵美子、小村井好江、荻野智恵子、伊藤久雄 計11名
 費用 JR3,600円(刺デ-パス含) 町営バス600円 計4,200円
 タイム 保田駅(9:30~10:00バス)小保田BS(10:11~10:18)下貫沢出合(10:35)水仙ピーク入口(11:10)水仙ピーク(11:25)嵯峨山(11:45~12:45 昼食)水仙ピーク入口(13:33)下貫沢出合広場(13:58~14:15)小保田BS(14:35~15:09バス)保田駅(15:20)
 データ 積算距離 6.08km
 総上昇量 392m
 活動時間 4時間17分
 移動時間 2時間22分
 停止時間 1時間55分
 移動平均速度 2.6km/h
 全体平均速度 1.4km/h

冬の房総シリーズ、今年も暖かくのんびりした山歩きが楽しめた。

20人程で満員のちっちゃいバスを小保田で降りる。思ったより好天で暖かい日差しが気分も和む。

バス停の角を左に入り直ぐに橋を渡り少し先を左に入る(道標アリ)、道の両側には直ぐにスイセンが目に付くようになる、既に水仙ロードの始まりか。車道の終点が下貫沢出合の広場で車も数台は止められ簡易トイレもあった。



この辺りからは畑と道端とスイセンの中を進む感じになる、少し急な傾斜もあるが何せ時間の余裕があるので、亀の如く歩を進める。

水仙ピークの分岐で右折して急斜面の

登りになり水仙ピークに出る、痩せた尾根上のピークには先客がいたため、そのまま嵯峨山へ向かう、少し急下降して左の木の間越しに見える



嵯峨山へ、短いが痩せた尾根を辿り、ひと登りで山頂に出る、展望はないが頂稜を左へ、祠のある所へ出ると北側の展望が開けており、そこで昼食とした。日当たりは良くないが風も無くこの時期では暖かいのは助かる、いつもより長めにく



つろぎの時間を過ごした。それを見越して湯を沸かし『喫茶 Mount SaGa』の特製コーヒーでホットすることも出来た。

いつもの集合写真撮って下山にかかる。釜ノ台方面に進むと尾根を外れ右に山の腹の下りとなり、明るいスイセン群落で撮影タイムもとした、競っている梅の香りと青空にも早春を存分に感じられた。古そうな墓地を抜け民家の脇の階段を下りて農道へ出る、左に進み道標のある分岐で白狐・小保田方面に入る、ゆるく登ってから新しい林道に沿った旧道を僅かで林道を横切って登り返しの山道になる、『七曲りです』と木切れ書かれた道を登ると往路の水仙ピーク入口の分岐に出た、後は往路を下ることになる。時間もまだ充分なのでゆっくりとスイセンを眺めながら下る。予報と違い青空が隠されてしまうこともなかったので、下貫沢出合の広場で時間調整も兼ねてのんびり休憩した。それでもバスまで30分以上の余裕を残してとんがり帽子を乗せた小保田バス停へ着いた。



時間が読めないなので、寄道はせずに保田駅で解散、特急、各停とそれぞれ帰宅となった。みんなまっすぐ帰ったのかなあ？

何はともあれ、陽だまり低山シリーズパート3も無事終了となった。

皆さん水仙ロードお楽しみいただけましたか？

(記 & 写真・涌井良明)